

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科・3学年・ABCD組
教科書	改訂版 詳説日本史B (山川出版社)	副教材等	最新日本史図表 (第一学習社)

1 学習の到達目標

<p>1、我が国の歴史の展開を世界史的視野に立ち、日本を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させる。 2、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	第8章 幕藩体制の動揺	1 幕政の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化	<ul style="list-style-type: none"> ・農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。 ・江戸中期に確立した洋学や国学、新たな形で展開する文学・芸能・美術について、社会の変容に伴う幕藩体制の動揺と関連付けて考察する。 ・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。 ・化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、取り組み ・ノート(プリント)提出 ・定期考査
	5		中間考査		
前期	6	第9章 近代国家の成立	1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 ・政府の強力な中央集権体制の志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ・東アジアをめぐる国際環境が変容するなか、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について考察する。 ・開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。 ・日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して考察する。 ・近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、取り組み ・ノート(プリント)提出 ・定期考査
	7		期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	9	第10章 近代日本とアジア	1 第一次大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、取り組み ・ノート(プリント)提出

後期	10	第11章 占領下の日本	1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。 東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。 	出 ・定期考査
	中間考査				
	11	第12章 高度経済成長の時代	1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ	<ul style="list-style-type: none"> 独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。 冷戦構造に雪解けの状況が生まれる中、日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。 朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 消費革命による社会の変貌と経済成長がもたらしたひずみである社会問題について考察する。 	・授業態度、取り組み ・ノート（プリント）提出 出 ・定期考査
12	第13章 激動する世界と日本	1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の動揺	<ul style="list-style-type: none"> 高度成長が終焉し、保守政権が動揺するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。 冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。 科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。 		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	歴史的事象に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
思考・判断・表現	歴史的事象から課題を見だし、我が国の形成の歴史的過程を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	歴史的事象に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。

4 評価の方法

授業中の取り組みや態度、ノート（プリント）などの提出物、定期考査の成績などから総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

日本の歴史は、私達の身近な先祖の歴史でもあります。どのようにして現代の社会へとつながっていくのか、先人達の歩みを探ってまいりましょう。単なる語句の群れではなく、時代や人々のつながりを意識して学ぶようにしてください。